

(川崎さん)

僕も優先順位言われて、一番でなくても良いんだけど。どういう基準で何でどうなっているのかわからない。

(杉田さん)

避難計画はあまり作られていないですね。実際、僕は勝手に思うんですけど、地震は台風と違って何も予告がたたずに、パッと来るじゃないですか。その時に、計画をパソコンの前で見れるわけじゃないから、思い出しながら、この人のところに行かないといけないとか。

そういうことがパッと思い浮かぶような、この人大丈夫かな？　と思ってもらえるような普段からの付き合いがあるのかなと。そういうことが大事なのかな？　と思ったり。でも、地域の人でも被災者だし、命を守らない、といけない所も当然あるし、助けてくれるというのは、今も行政で作りますけど、確実に助けられることはありませんと、書いてあるわけですね。

だから、そういう中で「誰々さんが来てくれるはずだったのに、来なかったじゃないの」という思いだけが残ってしまうような計画だったら意味がないかなとか、施設の、僕もグループホームで働いているのですね。

実際、ここ「青山彩光苑」でも水がなくてトイレが困った、という話があるのですが、震災の時も当日3人体制で、それが5人になって応援が来てくれて、と思うのですが、自分は逆に家庭のこともあるし、職場のこともあるし、出勤できるのか。

道路も寸断されたら、仕事に行きたいけど行けない、というような状況もある中で、どうやって、ここの施設の人たちが、利用者の命を守りながら生活したのだろうかとか。

僕らも地震が起こったら、同じように車の中で生活するようになるのだろうなと思うと、トイレも我慢したりするだろうし、助けてと言えないという中で影響が出てくるだろうし、助けに来てくれる人はいろんな所から来てくれるだろうけれど、